

活動報告 カロンゴ【薬剤師：雪本江里子】

ウガンダ北部医療支援における薬剤師の活動として、2014年2月から、約10か月にわたり計4名の日赤薬剤師が派遣されました。ミッション内容は、院内における薬品管理の向上と、配薬システムの構築（ユニットドーズシステム）のサポートです。

以前の配薬システムは、薬局から病棟へ箱単位で一括して薬を届け、そこから看護師が処方された薬を患者に投薬する、という形式でした。薬剤師の目を通っていないので、処方エラーに気づかず投与してしまっていたり、ボトルの取り間違いによる誤投薬の危険性もありました。また、病棟の配置薬管理は、薬品数が多いことから適切になされておらず、たくさんの不要な薬が病棟に置かれ、有効に使用されていない状況でした。

そこで、患者個人への薬のパッキング（ユニットドーズシステム）を薬剤部で行うこととし、病棟に置いてある不要な薬を撤去、薬剤部で一括集中管理できるようにし、かつ、より安全な投薬が行えるように現地薬剤部スタッフと協働してきました。まだ全ての病棟にユニットドーズが導入されていませんが、導入済みの病棟では、おおむね良好に運用され、不要な病棟在庫削減・医療安全向上に貢献しています。



